

# 扉を開いて

---

大学図書館問題研究会全国大会2012  
8月6日(月) オープンシンポジウム

菊池美紀 (聖学院大学)

# 大学紹介

- 所在地 埼玉県上尾市
- 構成 政治経済学部  
人文学部  
人間福祉学部  
大学院
- 学生数 約2,700人
- 建学の精神  
神を仰ぎ、人に仕う



# 図書館員はアピールが苦手?!

- アピールって苦手！
- 意気込むなんて、恥ずかしい……。

まずは意識から。

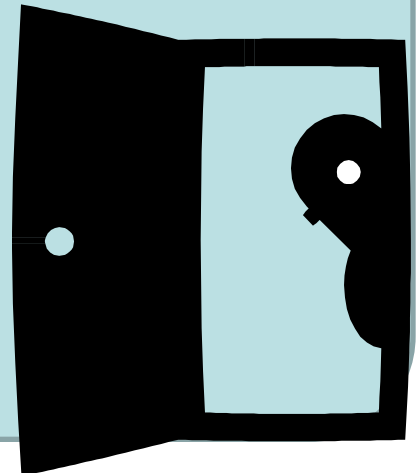
- 図書館に閉じこもらない。
- 大学行事も参加しよう。



# 実践例①：研究室訪問

- 新任教員への挨拶
- 学部長、学科長を訪問（通称・御用聞き）

- ✓ 顔と名前を覚えてもらう。
- ✓ 図書館活動を正しく伝え、  
協力を仰ぐ。
- ✓ 図書館サービスを紹介し、  
利用を促す。



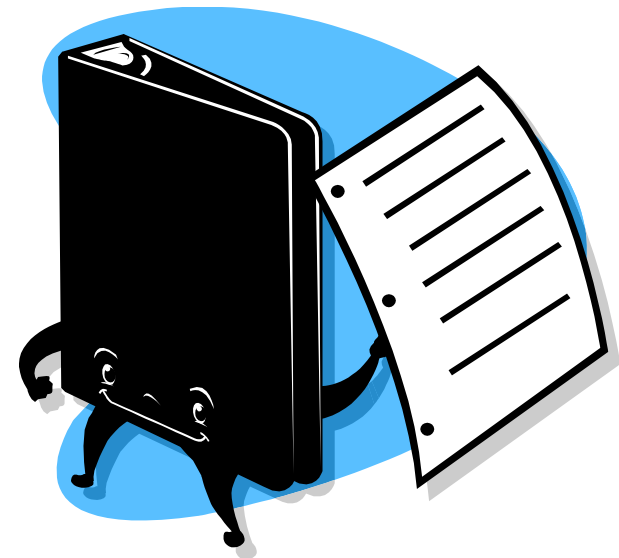
# 実践例②：図書委員会

- 図書委員会を理解者に！
- 運営委員会、教授会、学科会など  
公式会議をおさえよう。



# 実践例③：図書館長

- 前館長との顔合わせ（引き継ぎ）
- 館長資料（ファイル）
- 毎週の業務報告



目指せ！

図書館長の地位向上！

# 実践例④：図書館から外へ

- “紀要の電子化”というきっかけ
- “リポジトリ”という「魔法の鍵」?!



他部署と協力関係をつくる

# 実践例⑤:リポジトリ活動

- 研究者インタビュー  
リポジトリ活動を  
意識してもらう機会に。



The screenshot shows a web browser window displaying the SERVE website. The URL is <http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/mod/>. The page title is "SERVE 聖学院". The main content area features a news article titled "SERVE運用指針決定記念 学長インタビュー". The article text includes: "2007年に構築が始まったSERVEももうすぐ4周年。2010年12月には登録件数1,000件を突破しました。そして2月の教代会では運用指針が承認されました。これを記念して、学長 阿久戸典典先生にインタビューを行いました。" Below the text is a video player showing a man in a suit speaking. The video player has a play button and a progress bar. The article also includes a section titled "1<運用指針承認>" and "2<SERVEへの期待>".



# 実践例⑥：日常業務の中で

- カウンターでの会話  
（著作権許諾活動）

- 展示

研究紹介や  
学科講演会との連携



図書館員全員が、広報や見え方を意識する。

# まとめ

効果がすぐに出るとは  
限らない。

まずは、意識すること。  
そして、続けること。

